

【所信】 進化のとき

【監事】 菊池 幸一

アフターコロナ時代と言われ様々なことが変化しましたが、所沢青年会議所も大きな転換期を迎えていると考えております。所沢青年会議所はどのように進化をしていくべきなのでしょう。 「今の時代に必要なことは何か、我々は何をすべきだろうか」 日本に青年会議所が発足してから変わらぬテーマであり私達の活動の原点となる言葉であります。 深井理事長は2024年度に必要なこと、すべきことを所信として打ち出しました。そして、2020年度以降の入会者から活動を共にして理事となり、組織運営の中心となっていくメンバー達の新たな感覚も所沢青年会議所の進化にとって重要です。

所沢青年会議所には60年にわたる歴史と伝統があります。しかし、伝統だからと何も考えずに繰り返しては、時代外れの悪しき習慣ともなりかねません。何のためにそのような伝統にたどり着いたのか一つひとつ理由を明確にし、この時代に合わせて突き詰めなければ進化は起こらないどころか時代にあわず退化してしまいます。

私は入会から13年となりますが、誰よりも気をつけなくては所沢青年会議所の進化を阻害してしまう癌ともなりかねないと考えております。深井理事長のリーダーシップにより進化の道を前進する組織を監査していくには、バランスが重要であると考えます。所沢青年会議所がより一層飛躍していけるよう、時代を先駆ける進化を遂げるよう監事として精一杯邁進してまいります。